

小 松 基 地 ・ 空 港 対 策 特 別 委 員 会

1. 日 時 平成 30 年 9 月 21 日 (金)
午後 1 時 28 分 開会
午後 1 時 58 分 閉会
2. 場 所 第 2 委 員 会 室
3. 出席委員 浅野清利委員長, 灰田昌典副委員長, 新田寛之委員, 梅田利和委員, 片山瞬次郎委員, 二木攻委員, 川崎順次委員
4. 欠席委員 なし

5. 委員会の議題

調査事項

- ・ 在日米軍再編に係る訓練移転について

報告事項

【飛行場課】

- ・ 国の平成 31 年度概算要求について

【国際&経営政策課】

- ・ 小松空港のチャーター便の状況について

6. 委員長報告の要旨

■在日米軍再編に係る訓練移転について

7 月 1 6 日から 2 0 日にかけて、小松基地において日米共同訓練が行われました。2 国間の相互運用性の向上及び米軍飛行場の周辺地域における訓練活動の影響を軽減するために行われるものがあります。今後とも、訓練実施の際には、市民の安全・安心を図るため、これまで以上に安全対策、騒音対策を徹底し、飛行の安全や協定の順守を求めるものであります。

訓練の実施については、小松市民にとって関心の高い事であることから、今後とも、速やかな情報提供に努めるよう求めました。

■航空祭について

9 月 1 7 日月曜日の敬老の日に 2 年ぶりに開催されました。

今年の航空祭は、好天に恵まれ、アクロバット飛行チーム「ブルーインパルス」の参加もあり、来場者は約 1 2 万 3 千人とのことでありました。基地周辺の交通トラブルもなく、予定通り開催さ

れたとのことであります。

多くの航空ファンが訪れると見込まれたことから、路上駐車対策のため、基地周辺の交通規制を広げ、シャトルバスがスムーズに運行できるようにする等、関係機関と十分調整し、対策が行われたとのことであります。

航空祭における事前訓練については、予備日に訓練が行われたことがありましたが、特に地元の活動に対しては、特段の配慮を求めたものであります。

■国の平成31年度概算要求について

8月31日に防衛省が財務省に対し行った、平成31年度概算要求が公表されております。

基地周辺対策費は、平成31年度概算要求額1,411億3百万円で、前年度に対し、348億4千万円増の32.8%の伸びとの報告がありました。

今回の概算要求の特徴としては、住宅防音の伸び率が67.8%と大きく伸びているとのことであります。

住宅防音工事をはじめ、騒音防止、道路改修、緑地整備、周辺環境整備など地元の要望を優先に、是非とも民生安定化に向けて、これからも国直轄事業及び国の補助金を活用し、予算をスムーズに、執行していくよう求めました。

■小松空港の国際チャーター便の運航状況について

香港キャセイパシフィック航空において、昨年同様4月から6月までの間、インバウンドチャーター便を計26往復運航し90%以上の搭乗率があったとのことであります。

また、台湾エバー航空において、4月14日から28日までの間、定期便に加え、チャーター便を計15往復運航したものであります。

さらに、ゴールデンウィークにはベトナムベトジェット、及びマカオ航空において、5月3日と6日にインバウンド・アウトバウンドチャーター便を運航したものであります。

今後の運航予定について、香港キャセイパシフィック航空において、9月から10月までの間、インバウンドチャーター便を計10往復運航、また、ベトナムベトジェットにおいて、11月2日と25日にインバウンド・アウトバウンドチャーター便を運航するものであります。

海外からのインバウンドが好調であることから、石川県や小松空港協議会など関係機関と連携して、小松市内の観光を含めたインバウンドの集客、及びアウトバウンドの利用促進にも、更に努力するよう求めました。